

第2期蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

総合戦略の考え方と目標など

第2期総合戦略の基本的な考え方

本町では、「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、仕事づくりや移住定住等に取り組んできました。しかし、地方創生は中長期の人口推移に着目しながら取り組む息の長い施策であり、切れ目のない取り組みが必要です。

そのため、これまでの取り組みの検証とともに、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の新たな目標や施策方針を踏まえて、これまでの取り組みで育まれた「地方創生」の芽をより確かなものとし、地域の躍動を高めていくため、「第2期蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

第2期総合戦略の取り組み期間

令和3年度から令和9年度までの7年間

蔵王町人口の将来展望

2060年(令和42年)の目標人口:8,000人

～ 蔵王町が目指すべき将来の方向 【2060年の遠方目標】

- 1.蔵王が持つ自然の恵み、自然の豊かさを活かしたこれからの時代にふさわしい新たな雇用・安定した雇用が生み出される町を実現
- 2.蔵王町に暮らすことに誇りと希望が持てる町を実現
- 3.若い世代の結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援と、地域で子育てを支える町を実現
- 4.町民が安心して住める町・町外の人々が期待感を持って来訪できる魅力ある町を実現

基本目標

基本目標1

稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働ける地域を創出する

数値目標:企業進出・創業支援・新規就農等による雇用機会創出数 100人

蔵王町の基幹産業である農業、観光業を稼げる産業として発展させるとともに、蔵王がもつ自然の恵み、自然の豊かさを最大限生かした新たな雇用の場、起業の機会を創出することで、誰もが安心して働ける環境を創出していきます。

基本方向

蔵王ブランドの強化による稼げる地域産業の進出

- ・消費者を魅了する「蔵王ブランド」の強化
- ・6次化等による収益性の高い事業の推進
- ・販路拡大の支援



蔵王町の「観光力」を高める観光戦略の推進

- ・多様な蔵王の魅力を提供する観光戦略
- ・観光地としての魅力を高めるイメージアップ戦略
- ・観光客をひきつける情報発信戦略

企業誘致・創業等を支援し、新たな働く場の創出

- ・蔵王の資源を活かした企業誘致の推進
- ・多様な働き方を支援し働く場を確保

基本目標2

蔵王町とのつながりを築き、蔵王町への新しい人の流れをつくる

数値目標:年間転入者数 400人

蔵王町の魅力を活かした選択肢を増やし、蔵王町への移住・定住を推進していきます。さらに、蔵王町に関わりたいという人とのネットワークを築き、経済や人の流れを作っていきます。

蔵王町の魅力を満喫する移住・定住の推進

- ・多様な世帯にあった移住・定住の支援
- ・情報発信・相談体制の強化

蔵王町への資金と人の流れをつくる

- ・蔵王町への経済の流れをつくる
- ・蔵王町に関わる人の流れをつくる



基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標:合計特殊出生率 1.50

蔵王町において、子育て家庭への支援のほか、仕事と子育ての両立を支援していくことで子育ての希望を叶える地域を構築していきます。また、未来を担う子どもたちが、ふるさとに誇りを持ち、いきいきと生活できる環境の整備に取り組めます。

結婚・出産・子育ての切れ目のない支援

- ・結婚・出産・子育ての切れ目のない支援
- ・子育て家庭の経済的支援の充実

仕事と子育ての両立を支援

- ・預かり体制の充実
- ・子育て家庭の支援方策の充実



未来を担う人づくりの推進

- ・子どもの学びの環境を支援
- ・地域文化や自然を誇りとする生徒・児童の育成

基本目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

数値目標:住みやすい街だと思ふ町民の割合 75.0%

人々が定住し持続的な地域社会を形成するため、蔵王町に住みたいという「快適な住環境」と蔵王町に住み続けられるという「安全・安心の確保」の2つの柱を戦略的に進めます。

ずっと住みたい快適な環境づくり

- ・ずっと住みたい快適な環境づくり
- ・蔵王町の地域を支える生活サービスの充実

安全で安心して暮らせる地域社会づくり

- ・増加する自然災害に対する防災体制づくり
- ・町民との協働による地域を守る仕組みづくり

